

- 1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- a. 鳥取商店に注文していた商品 ¥850,000 について、本日、貨物引換証を受け取った。なお、代金はさきに支払ってある内金 ¥170,000 を差し引き、残額は掛けとした。
- b. 奈良商事株式会社は、取得原価 ¥3,000,000 の備品を ¥1,260,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この備品の売却時における帳簿価額は ¥1,800,000 であり、これまでの減価償却高は備品減価償却累計額勘定を用いて間接法で記帳している。
- c. 兵庫商会の本店は、神戸支店が西宮支店の従業員の旅費 ¥90,000 を現金で立て替え払いしたとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- d. 京都商事株式会社は、事業拡張のため、あらたに株式300株を1株につき ¥80,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥40,000 は資本金に計上しないこととした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥270,000 は小切手を振り出して支払い、全額を繰延資産として処理した。
- e. 和歌山物産株式会社は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定の貸方残高は ¥3,970,000 である。
- 利益準備金 ¥310,000 配当金 ¥3,100,000 別途積立金 ¥420,000
- f. 滋賀商事株式会社は、割引発行した社債 額面総額 ¥50,000,000 (帳簿価額 ¥49,500,000) のうち、額面 ¥30,000,000 を @¥98 で小切手を振り出して買入償還した。
- g. 大阪商事株式会社 (決算年/回) は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,520,000 の2分の1を現金で納付した。

- 2 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。ただし、
- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
- iii 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
- iv ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。

取引

- 1/月/8日 下関商店に商品 ¥260,000 を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
- 2/日 松江商店に対する買掛金 ¥160,000 を小切手を振り出して支払った。
- 24日 倉吉商店に対する売掛金 ¥470,000 が、当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。
- 27日 姫路商店あてに振り出していた約束手形 ¥320,000 が、本日、支払期日となり当座預金から支払われたとの連絡を取引銀行から受けた。

- 3 次の各問いに答えなさい。

- (1) 山口商店 (個人企業) の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 売上原価 b. 売掛金の貸し倒れ高
- 資料
- i 売掛金および商品

	(期首)	(期末)
売掛金	¥ 450,000	¥ 409,000
商品	280,000	290,000
ii 売掛金の回収高	¥3,950,000 (現金 ¥3,140,000 約束手形 ¥ 810,000)	
iii 売掛金の貸し倒れ高	¥	
iv 期間中の売上高	¥5,030,000 (掛け ¥3,930,000 現金 ¥1,100,000)	
v 期間中の仕入高	¥3,900,000 (掛け ¥2,270,000 現金 ¥1,630,000)	

- (2) 広島商店 (個人企業) の本店および支店の貸借対照表と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 本店貸借対照表の支店 (アの金額) b. 本支店合併の商品 c. 本支店合併の当期純利益

本店 貸借対照表			
平成〇年/2月31日			
資産	金額	負債・純資産	金額
現金	492,000	支払手形	461,000
当座預金	1,822,000	買掛金	1,476,000
売掛金	()	資本金	5,000,000
商品	1,430,000	当期純利益	845,000
備品	800,000		
支店	(ア)		
	7,782,000		7,782,000

支店 貸借対照表			
平成〇年/2月31日			
資産	金額	負債・純資産	金額
現金	250,000	支払手形	370,000
当座預金	616,000	買掛金	925,000
売掛金	633,000	本店	1,035,000
商品	412,000		
備品	400,000		
当期純損失	19,000		
	2,330,000		2,330,000

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥217,000 (原価) が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥375,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- ③ 支店で本店受取分の手数料 ¥60,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。
- ④ 本店で支店の広告料 ¥100,000 を立て替え払いしたが、この通知が支店に未達である。

4 岡山商店の/月2/日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引
/月2/日 福山商店に掛けて売り渡していた商品 ¥18,000 が品違いのため返品された。

入金伝票	出金伝票	売上伝票
受取手数料 15,000	消耗品費 2,000	倉敷商店 528,000
売掛金 216,000	買掛金 186,000	岩国商店(値引) 6,000
当座預金 171,000	当座預金 98,000	宇部商店 492,000
売掛金 184,000	買掛金 145,000	三原商店 376,000
() ()	() ()	() ()

振替伝票(借方)	振替伝票(貸方)	仕入伝票
買掛金 235,000	当座預金 235,000	彦根商店 285,000
当座預金 380,000	受取手形 380,000	明石商店 306,000
買掛金 142,000	支払手形 142,000	加古川商店 75,000
消耗品費 21,000	当座預金 21,000	長浜商店 161,000
受取手形 430,000	売掛金 430,000	尼崎商店(値引) 4,000
() ()	() ()	() ()

5 島根商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。

よって、

(1) 付記事項の仕訳を示しなさい。

(2) 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。

(3) 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金 ¥ 454,000	当座預金 ¥ 2,180,000	受取手形 ¥ 1,644,000
売掛金 3,700,000	貸倒引当金 17,000	有価証券 1,800,000
繰越商品 2,280,000	備品 1,200,000	備品減価償却累計額 300,000
支払手形 990,000	買掛金 2,540,000	借入金 2,000,000
前受金 100,000	従業員預り金 340,000	資本金 6,000,000
売上 18,600,000	受取手数料 375,000	仕入 14,900,000
給料 1,716,000	支払家賃 1,080,000	保険料 132,000
消耗品費 152,000	支払利息 24,000	

付記事項

① かねて受け取っていた山陰商店振り出しの約束手形 ¥144,000 が期日に当座預金に入金されていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥2,450,000
- b. 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,200,000 残存価額は零(0) 耐用年数は4年とし、定額法による。
- d. 有価証券評価高 有価証券 ¥1,800,000 は、売買を目的として保有する出雲商事株式会社の株式40株であり、1株につき ¥43,000 に評価替える。
- e. 消耗品未使用高 ¥ 61,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥120,000 は、本年4月からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 利息未払高 ¥ 72,000

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

[illegible]

2

1/1 前期繰越	830,000
支 払 手 形	
1/1 前期繰越	480,000
売 掛 金 元 帳	
倉 吉 商 店	
1/1 前月繰越	630,000

1

1/1	前期繰越	1,490,000	
買掛金			12
1/1	前期繰越	1,360,000	
買掛金元帳			
松江商店			2
1/1	前月繰越	190,000	

a	売 上 原 価	㌦	b	売掛金の貸し倒れ高	㌦
---	---------	---	---	-----------	---

a	本店貸借対照表の 支店(アの金額) ㊦	b	本支店合併の 商 品 ㊦	c	本支店合併の 当 期 純 利 益 ㊦
---	------------------------	---	-----------------	---	-----------------------

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の1得点

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年/月2/日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 手 数 料		
		仕 入		
		消 耗 品 費		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3)

損 益 計 算 書

島根商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()		貸倒引当金戻入	
支払家賃			
保険料			
消耗品費			
支払利息			
()			
()			

貸 借 対 照 表

島根商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支払手形	
当座預金		買 掛 金	
受取手形 ()		借 入 金	
貸倒引当金 ()		前 受 金	
売 掛 金 ()		従業員預り金	
貸倒引当金 ()		()	
有価証券		資 本 金	
商 品		()	
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	未 着 商 品 (または未 着 品) 850,000	前 払 金 (または前 渡 金) 170,000 買 掛 金 680,000
b	備品減価償却累計額 1,200,000 未 収 金 1,260,000 固 定 資 産 売 却 損 540,000	備 品 3,000,000
c	西 宮 支 店 90,000	神 戸 支 店 90,000
d	当 座 預 金 24,000,000 株 式 交 付 費 270,000	資 本 金 12,000,000 資 本 準 備 金 12,000,000 当 座 預 金 270,000
e	繰 越 利 益 剰 余 金 3,830,000	利 益 準 備 金 310,000 未 払 配 当 金 3,100,000 別 途 積 立 金 420,000
f	社 債 29,700,000	当 座 預 金 29,400,000 社 債 償 還 益 300,000
g	仮 払 法 人 税 等 760,000	現 金 760,000

2

当 座 預 金 出 納 帳

2

平成 〇 年	勘定科目	摘 要	平 子	売 掛 金	諸 口	平成 〇 年	勘定科目	摘 要	平 子	買 掛 金	諸 口
		前ページから		632,000	276,000			前ページから		425,000	368,000
1 18	売 上	下 関 商 店	✓		260,000	1 21	買 掛 金	松 江 商 店	買2	160,000	
24	売 掛 金	倉 吉 商 店	売1	470,000		27	支 払 手 形	約 手 支 払 い	11		320,000
				1,102,000	536,000					585,000	688,000
31			4		1,102,000	31			12		585,000
〃			2		1,638,000	〃			2		1,273,000
		前 月 繰 越	✓		830,000			次 月 繰 越	✓		1,195,000
					2,468,000						2,468,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金 2			
1/1	前期繰越	830,000	1/31 1,273,000
31		1,638,000	
支 払 手 形 11			
1/27		320,000	1/1 前期繰越 480,000
売 掛 金 元 帳			
倉 吉 商 店 1			
1/1	前月繰越	630,000	1/24 470,000

売 掛 金 4			
1/1	前期繰越	1,490,000	1/31 1,102,000
買 掛 金 12			
1/31		585,000	1/1 前期繰越 1,360,000
買 掛 金 元 帳			
松 江 商 店 2			
1/21		160,000	1/1 前月繰越 190,000

3

(1)

a	売 上 原 価 〃 3,890,000	b	売掛金の貸し倒れ高 〃 21,000
---	---------------------	---	--------------------

(2)

a	本店貸借対照表の 支店(アの金額) 〃 1,667,000	b	本支店合併の 商 品 〃 2,059,000	c	本支店合併の 当 期 純 利 益 〃 786,000
---	----------------------------------	---	---------------------------	---	-------------------------------

4

仕 訳 集 計 表
平成〇年/月2/日

借 方	平 子	勘 定 科 目	平 子	貸 方
586,000		現 金		431,000
478,000		当 座 預 金		427,000
430,000		受 取 手 形		380,000
1,396,000		売 掛 金		854,000
		支 払 手 形		142,000
712,000		買 掛 金		827,000
24,000		売 上		1,396,000
		受 取 手 数 料		15,000
827,000		仕 入		4,000
23,000		消 耗 品 費		
4,476,000				4,476,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	当 座 預 金 144,000	受 取 手 形 144,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 2,280,000	繰 越 商 品 2,280,000
	繰 越 商 品 2,450,000	仕 入 2,450,000
b	貸 倒 引 当 金 17,000	貸倒引当金戻入 17,000
	貸 倒 償 却 104,000	貸 倒 引 当 金 104,000
c	減 価 償 却 費 300,000	備品減価償却累計額 300,000

	借 方	貸 方
d	有価証券評価損 80,000	有 価 証 券 80,000
e	消 耗 品 61,000	消 耗 品 費 61,000
f	前 払 保 険 料 30,000	保 険 料 30,000
g	支 払 利 息 72,000	未 払 利 息 72,000

(3) 損 益 計 算 書

島根商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	2,280,000	売 上 高	18,600,000
仕 入 高	14,900,000	期末商品棚卸高	2,450,000
売上総利益	3,870,000		
	21,050,000		21,050,000
給 料	1,716,000	(売上総利益)	3,870,000
(貸 倒 償 却)	104,000	受 取 手 数 料	375,000
(減 価 償 却 費)	300,000	貸倒引当金戻入	17,000
支 払 家 賃	1,080,000		
保 険 料	102,000		
消 耗 品 費	91,000		
支 払 利 息	96,000		
(有価証券評価損)	80,000		
(当期純利益)	693,000		
	4,262,000		4,262,000

貸 借 対 照 表

島根商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	454,000	支 払 手 形	990,000
当座預金	2,324,000	買 掛 金	2,540,000
受取手形 (1,500,000)		借 入 金	2,000,000
貸倒引当金 (30,000)	1,470,000	前 受 金	100,000
売 掛 金 (3,700,000)		従業員預り金	340,000
貸倒引当金 (74,000)	3,626,000	(未払利息)	72,000
有価証券	1,720,000	資 本 金	6,000,000
商 品	2,450,000	(当期純利益)	693,000
(消 耗 品)	61,000		
(前払保険料)	30,000		
備 品 (1,200,000)			
減価償却累計額 (600,000)	600,000		
	12,735,000		12,735,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)